



| 施設の区分     | 作目番号     | 種類                  | 所在地   | 所有者<br>利用主体          | 利用規模                | 1棟当<br>施設費 | 利用形態      | 栽培期間 |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 備考 |  |  |   |
|-----------|----------|---------------------|-------|----------------------|---------------------|------------|-----------|------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|--|--|---|
|           |          |                     |       |                      |                     |            |           | 4月   | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |    |  |  |   |
| 水稲        | ①        | ミツバ                 | 栗石町   | 個人                   | 132㎡<br>(66㎡×2)     | 37,000     | 春冬期       | ●    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |  |  |   |
|           | ②        | メロン採種<br>(メロン交配N交)  | 花巻市   | Y水稲育苗組合<br>9人婦人グループ  | 132㎡<br>(66㎡×2)     | 44,500     | 夏期        | ●    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |  |  | 契約栽培                                      |
|           | ③        | ハウレンソウ<br>(ミスターランド) | 玉山村   | OM水稲育苗組合<br>8人婦人グループ | 1,029㎡<br>(257.4×4) | 124,688    | 夏期        |      |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |  |  |   |
|           | ④        | シュンギク               | 玉山村   | OM水稲育苗組合<br>8人婦人グループ | 128㎡                | 124,688    | 秋期        |      |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |  |  |   |
|           | ⑤        | サヤエンドウ<br>(乙女キヌザヤ)  | 玉山村   | OM水稲育苗組合<br>8人婦人グループ | 772㎡<br>(129㎡×6)    | 124,688    | 秋期        |      |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |  |  |   |
|           | ⑥        | シドケ                 | 栗石町   | T水稲育苗組合<br>4人グループ    | 330㎡<br>(66㎡×5)     | 40,000     | 冬期        |      |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |  |  |   |
|           | ⑦        | 水仙切花<br>(フォーチュン)    | 花巻市   | 個人                   | 178㎡                | 129,000    | 冬期        |      |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |  |  | 低温処理(春化処理)半促成                             |
|           | ⑧        | ストック切花              | 花巻市   | 個人                   | 178㎡                | 129,000    | 夏秋        |      |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |  |  |   |
|           | ⑨        | ブドウ<br>(キャンベル)      | 江刺市   | E農協<br>E農協           | 257㎡<br>(129㎡×2)    | 130,000    | 周年利用      |      |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |  |  | ウォークマン仕立法による                              |
|           | 水稲<br>緑化 | ⑩                   | ナメコ   | 栗石町                  | G農協<br>G農協          | 198㎡       | 2,395,000 | 冬期   |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |  |  |   |
| ⑪         |          | シイタケ                | 和賀郡   | E農協<br>E農協           | 198㎡                | 2,395,000  | 冬期        |      |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |  |  |   |
| 野菜<br>乾燥  | ⑫        | レタス育苗               | 遠野市青世 | 個人                   | 165㎡                | 1,155,000  | 周年利用      |      |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |  |  |   |
|           | ⑬        | ナメコ                 | 遠野市青世 | 個人                   | 165㎡                | 1,155,000  | 周年利用      |      |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |  |  |   |
| 野菜<br>ハウス | ⑭        | 牧草乾燥                | 遠野市小友 | 個人                   | 264㎡                | 1,511,000  | 夏期        |      |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |  |  |   |
|           | ⑮        | 水稲育苗                | 宮古市老木 | 個人                   | 光 54型<br>66㎡        | 3,200,000  | 周年利用      |      |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |  |  | 中生育苗<br>育苗箱数640枚/田面積40a<br>(1回乾)          |
| 水稲        | ⑯        | 水稲育苗                | 一ノ関市  | I農協<br>育苗施設利用組合      | 光 54型<br>726㎡       | 3,000,000  | 周年利用      |      |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |  |  | 育苗は積重ね方式で行う。育苗箱数4,148枚/田面積2,388a<br>(3回乾) |

凡例 ● 播種 □ 移植 〰 ハウス入加温 ※ 収穫

第1図 農業用育苗施設などの跡利用例

これらの施設多目的利用例を通じて言えることは、利用年次が1~2年と浅いため作目の選択・技術の習得・流通や生産体制の確立などに問題が多いことである。また「空かせておくことのもったいなさ」程度の意識で、利用の目的や狙いが明確でない場合が多いことも指摘しておきたい。

このうち、②のメロン採種は特定の種苗会社との契約栽培であって、生産物の流通体制も確立し、狙いも明確にした、やや特殊ながら模範例である。

⑭の牧草の仕上げ乾燥利用は、他に2カ所計3カ所に見られ、乳・肉牛飼養農家に広く推奨できる活用法である。この活用法の要領として、地面またはコンクリートなどの面に接する下部には、60~100cmの良く乾燥した牧草をあらかじめ積み、これはずっと除去しない。この例は経済試算は行いがたいが、不良気象に伴う腐敗などのロスや品質低下を防ぎ、他に利用したい高温期の遊休施設活用として有効なものである。

⑨は果樹との組合せが特異である。この方式は青森県でかなり行われていて、有利販売ができるブドウの促成栽培に主目的があり、葉が茂らぬ春の水稲育苗などに副次的に利用されているようであって野菜の育苗も有効である。

もちろん無加温で、途中からビニールを除去しブドウ畑に急変する。上繁植物と下繁植物の生育季差を応用した立体的活用とも云えるであろう。

ブドウはウォークマン仕立法(別名大隈法)という特殊な栽培法であることに注意すべきであり、また本県ではキャンベルを供用しているが、促成による高単価を狙うか、露地では不可能な晩生大粒種にするか、もっと有利な品種を検討すべきであろう。

山菜を含め野菜は最多であるが、⑫のレタス育苗は水稲育苗と時期的に競合するから、ゆとりがあるタバコ乾燥ハウスなどのみ成立する。

④と⑤は晩秋から初冬の端境期を狙った作型で、水稲育苗前の早春出荷を狙うとすれば①・⑥のような加温設備が必要となる。

また、花卉の2例、特にスイセンの切花は巧みな無加温ハウスの活用法で、春化処理と暖地である条件が前提となる。

### 3 利用段階と作目開発

施設を固定費で見ると第1表のとおりで、硬化施設はその25%に過ぎない。したがって、硬化ハウス部分を上手に活用しても、緑化施設を含めた全体の固定

費、ひいては水稲育苗コスト低減には役立ちがたいのである。

これは利用段階が低いことにも一因があって、硬化ハウスではハウス部分を除去して跡を畑地として利用

するもの、ビニールだけを除いて骨組みにキュウリ・インゲンなどツルものをからませる程度の低利用が一般に多く第1図の③の前期2作などハウスで栽培する意義は疑問である。

第1表 育苗センターの固定費(クボタ100ha規模)

| 名 称     | 数 量              | 金 額        | 耐用年数 | 年償却費      |
|---------|------------------|------------|------|-----------|
| 1 作業室   | 146 <sup>m</sup> | 1,010,433  | 15年  | 60,626    |
| 2 育苗室   | 198 <sup>m</sup> | 2,395,767  | 8年   | 269,523   |
| 3 出芽装置  | 4基               | 628,000    | 8年   | 78,500    |
| 4 緑化装置  | 28台              | 2,139,000  | 8年   | 267,375   |
| 5 発育用機械 | プラント1基           | 1,368,400  | 5年   | 273,680   |
| 6 硬化用施設 | 15棟              | 2,482,236  | 5年   | 496,447   |
| 7 育苗箱   | 木製               | 1,440,000  | 3年   | 480,000   |
| 8 その他   | 設計料他             | 642,860    | 8年   | 80,357    |
| 諸 経 費   |                  | 341,574    |      | 42,696    |
|         | 補助なし             | 12,448,270 |      | 2,649,204 |
|         | (補助差引き)          | 8,783,270  |      | 1,445,877 |

注目すべき高度利用として近年育苗施設による芝生産が試み始められつつある。これは催芽・播種から緑化・硬化まで全施設・機能をすべて活用しており、水稲育苗の全作業行程をそのままたどるものである。ここまでの高度活用では、場合によっては(活用期間の長さもあって)どちらが主になるか解らぬほどの成果も予想されるであろう。

また、周年的利用も多目的利用効果を高めるものであり、加温・かん水などの機能付加や二重トンネルなどの設置を行い、地域性や労働力など経営条件に応じた作目開発がなされるべきである。第1図に示されないもので、可能性の高い活用法を一試案として示すと次のとおりである。

園芸部門；野菜では他に促成ニラ・サントウナ・コマツナ・小カブなどが考えられるし、アスパラガスの冬出しも有利であろう。育苗についてはレタスのほか多くの作目が考えられ、特にタバコ乾燥ハウスで有効であるし、アスパラガスの育苗の例もある。また、ナガイモの催芽なども行えるであろう。

花卉についてはストック、秋ギク、フリージア、チューリップ、ユリ類などがあるほか、切枝花木として

レンギョウ、ボケ、ユキヤナギ、サクラ、ハナモモ、コデマリ類、ハナウメ、モクレン、リンショウバイなど数多くある。また鉢物も考えられる。

山菜としてはシドケのほかクサソテツ(コゴミ)、ワラビ、タラの芽(タラボウ)など各種が考えられ、特にクサソテツは有望と思われる。

林業部門；きのこ類としてはシイタケ、ナメコのほかヒラタケ、エノキタケ、マッシュルームなどがあるが、ホダ木づくりの作業場兼かん水によるホダ木貯蔵場として注目されている。

他に用材・薪の乾燥、クルミの乾燥などの利用法もありそうである。

畜産部門；乾草生産・粗飼料置場のほか、厩肥・鶏糞の乾燥や家畜の飼育場特にブロイラー飼養の例がある。

水産部門；藻類・魚類の乾燥が考えられよう。

畑作部門；タバコ乾燥ハウスと水稲育苗施設の相互利用は最も有効であろう。他にラッカセイなどの子実乾燥などにも利用できる。

養蚕部門；高温抑制機能に問題がある場合もあるが、かなり有力である。